

2026年9月海洋観測結果について

8月25日及び8月26日に栽培漁業センターの調査船「おしどり」により表1、図1に示す観測点で海洋観測を実施しました。調査結果は当センターホームページ（<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=201810>）に掲載するとともに、沿海漁協へファクシミリで通知します。

表1 観測定点

	調査点	海底水深	経度	緯度
赤碕ライン	ST-1	16m	133.41	35.3100
	ST-2	50m	133.40	35.3430
	ST-3	70m	133.40	35.3736
	ST-4	95m	133.40	35.4340
	ST-5	185m	133.40	35.4805
長尾鼻ライン	ST-6	185m	134.00	35.4300
	ST-7	95m	134.00	35.4000
	ST-8	70m	134.00	35.3700
	ST-9	50m	134.00	35.3400
	ST-10	13m	134.00	35.3200

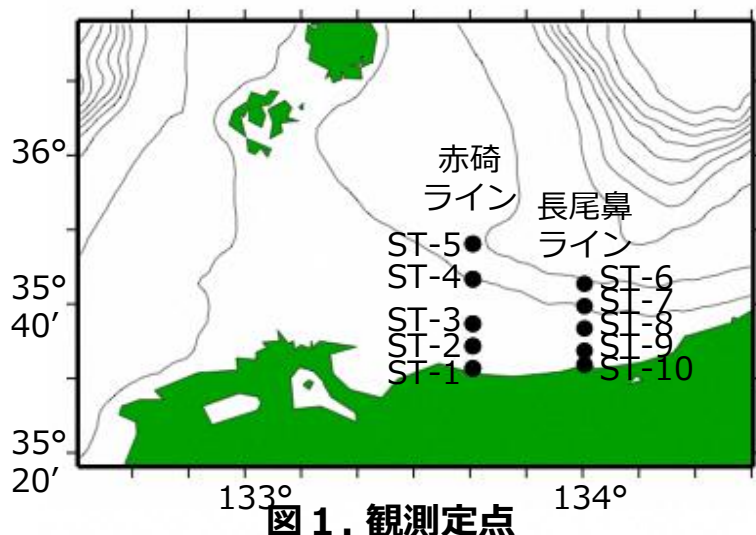


図1. 観測定点

【鉛直分布図】

赤碕ライン、長尾鼻ラインともに表面水温は29℃台となりました。赤碕ラインでは前月より1℃低下しましたが、長尾鼻ラインでは前月とほぼ同じ水温でした。

両ラインとも水深約50m付近でも23～25℃と高く、水深90m付近まで平年を上回る高水温が続いています。

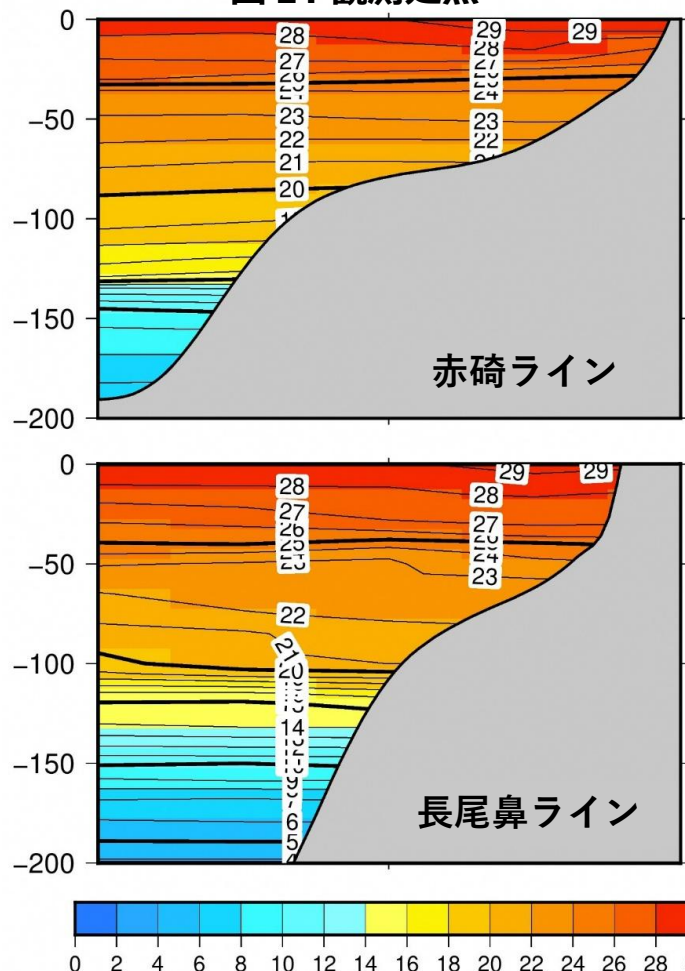


図2 鉛直分布図（海水温の単位：℃）

【水深帯別の比較】

両ラインとも、表層から水深90mまで平年を上回る水温となりました。特に90m層では、平年に比べ赤碕ラインで2.0℃、長尾鼻ラインで3.6℃かったです(表2)。

高水温が続いている要因としては、主に以下のことが考えられます。

- 5月以降、対馬暖流の勢力拡大が強い状態が継続していること
- 7月以降、晴天が多く、日射による海面の加熱が続いたこと
- 台風や低気圧の通過が少なく、海水の鉛直混合が弱かったこと

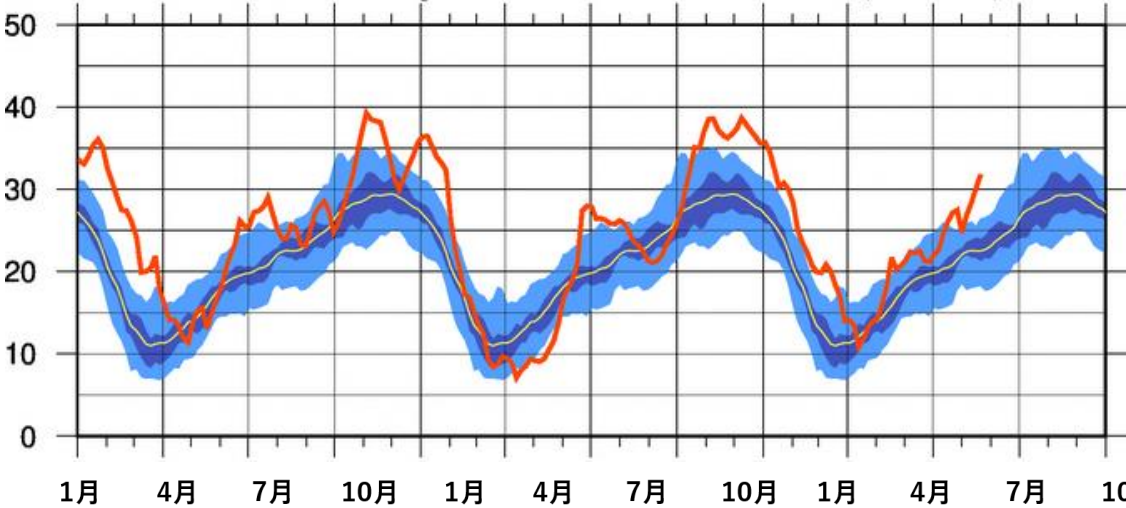
このため、表層だけでなく深い層まで高水温の状況が続いており、今後も本県沿岸の水温動向に注意が必要です。

表 2 赤碕及び長尾鼻ラインの 9 月平均水温

調査定線	赤碕ライン (133° 40')				長尾鼻ライン (134° 00')			
	0m	30m	50m	90m	0m	30m	50m	90m
2026年	29.0	25.9	22.9	19.7	29.0	26.7	23.3	21.4
前年	29.8	27.7	23.4	16.3	29.9	29.2	25.0	17.4
2010-25年平均	27.4	24.7	21.9	17.8	27.5	24.7	22.0	17.8
平年差	1.6	1.2	1.0	2.0	1.5	2.0	1.3	3.6

図1. 対馬暖流の勢力の推移

Time Series of Tsushima Current Area (10⁴km²)



気象庁hpより抜粋(一部改変)

2024年 2025年 2026年

< 参考 >

気象庁.“過去の気象データ検索”.気象庁.

https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/data/db/kaikyo/tsushima/tsushima_area.html